



石器づくりワークショップ開催！



3月15日より企画展「縄文文化のはじまり
～ハケ上遺跡全部見せます～」を開催中です。
今回の企画展に関連し、3月23日に「石器づ
くりワークショップ」を開催いたしました。

講師に東北大学考古学研究室の金彦中さん
をお招きし、25名の参加者と石器づくりに挑
戦しました。

石器づくりに必要な材料の説明(今回は山形
県で採取した石材を使用しました)に始まり、
道具の説明、石のどの部分をたたけばどのよう

に割れていくのかなど、どれも興味深い内容で
皆さん真剣に聞き入っていました。

そして、いざ石器づくりに入ったのですが…
これがなかなか難しい。頭では理解しているつ
もりでも、なかなか思うように石が剥がれてい
かず、思った形にならないのです。悪戦苦闘し、
先生のカも借りつつようやくできた石器は皆
さんの宝物となったことでしょう。

石材からどのような工程を経て石器になっ
ていったのかを知ることにより、今後の石器の
見方も変わるのではないかと思います。



縄文の森に春がやってきました。

春の訪れを感じさせてくれる生き物の一つがアズマヒキガエルです。

3月になると冬眠から覚め、園内の落葉の下などから這い出てきて、縄文の森にある池に向かいます。1匹、2匹と日毎にその数が増え、およそ1週間以内には沢山のヒキガエルが集まり繁殖行動が始まります。ガマ合戦と呼ばれる、多くのオスによるメスの奪い合いです。写真は、右のオスが左のペアに飛びつき、ペアのオスに蹴られた直後の様子です。

池全体では50匹近いヒキガエルが集まっており、1週間後にはおびただしい数の卵塊が見られました。その後10日ほどで孵化したオタマジャクシが見られるようになりました。

オタマジャクシはやがて、後ろ足、前足が生え、尾が無くなり、約1か月後には体長1センチほどのカエル達が上陸するはずです。

カエルになったあとはほとんど水に入ることは無く、落ち葉の下など湿った場所でトビムシなどの微小な生物や昆虫などを食べて生活します。2～3年後には体長10センチ前後の成体となり、繁殖に参加するようになります。

ヒキガエルの繁殖行動が始まる頃には、数匹でかたまって冬眠していたニホンヤモリも目覚めて活動を始めます。初夏の繁殖期に備え、体力をつけるために盛んに昆虫を食べます。ヒキガエルもヤモリも夜行性で、見られるのは早朝・夕方ですが、昼間は倒木の下や木の割れ目などで休んでいる姿が見られます。

やがて、森はクヌギやアカシデ、コナラなどの落葉樹が一気に芽吹き、春本番を迎えます。

そして、ヤマザクラの花が終わる頃になると、日一日と気温が上昇し、縄文の森は初夏の様相に変化してゆきます。



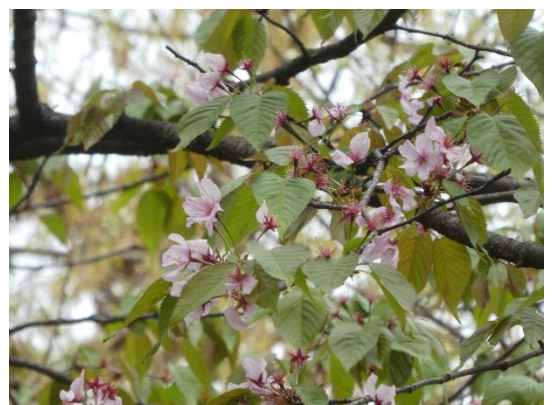
アズマヒキガエル



アズマヒキガエルの卵塊



ニホンヤモリ



ヤマザクラ



縄文文化のはじまり

は け うえいせき
～ハケ上遺跡全部見せます～

現在資料館では6月15日（日）まで企画展を開催しており、「～ハケ上遺跡全部見せます～」のタイトル通り、ハケ上遺跡出土の石器を、ほぼすべて展示しています。

中でも驚くべきは剥片の量です。剥片は尖頭器や石鏃などを作る際に出る副産物と考えられがちで、あまり重要視されずに収蔵庫にしまわれ、陽の目を見ないことは多々あります。しかし、剥片をよく観察することで様々なことがわかります。

何かものを切ったり、そぎ取ったりしたような

痕跡をもつものや、剥片からさらに加工して何か製品を作ろうとしたもの、剥片同士が接合でき、原石（石器の大元となる石）からどのように石材を剥がして尖頭器などの製品をつかったのか、当時の石器剥離の技術を復元することもできます。

なかなか剥片一点一点を観察するのは骨が折れましたが、今回の展示にあたり再整理したなかにはスクレイパーや石鏃の未完成品も発見することができました。ぜひ会場でご覧ください。



氷川前遺跡の集落跡を発掘中

水子貝塚公園の西門を出て正面に位置する氷川前遺跡第 103 地点では、昨年 11 月から大規模な発掘調査が継続中です。

弥生時代後期ごろの住居跡が密集して発見されており、調査中で未確定なものを含めて 25 軒を数えます。氷川前遺跡は過去の調査でも弥生時代の住居跡が多く見つかった遺跡で、今回の調査地点は集落跡の中核とみられます。

その他にも、平安時代の住居跡 8 軒ほど、古墳時代の竪穴住居跡 1 軒、小さな貝塚を伴う縄文時代前期の住居跡 2 軒など、様々な時代の遺構が確認されています。4 月現在も発掘調査は続いており、今後の発掘調査成果に注目です。

（協力：富士見市教育委員会生涯学習課）

氷川前遺跡 第 103 地点

調査期間 令和 6 年 11 月～



重なり合う平安時代と弥生時代の住居跡



弥生時代後期～古墳時代とみられる小玉

5～7月のイベント予定

* イベント予定は変更することがあります
最新の情報は広報富士見か公式サイトで

企画展 「縄文文化のはじまり

はけうえ
～ハケ上遺跡全部見せます～

日時 3月15日(土)～6月15日(日)

内容 関沢に所在するハケ上遺跡は、縄文時代草創期の土器や石器が豊富に出土することで知られています。
それらの資料を中心に、富士見市とその周辺で縄文時代がはじまったころの様子を紹介します。

縄文の森コンサート

ハンドパンの素敵な音色をお楽しみください。

演奏 ハンドパン奏者 野田義晃さん

日時 6月29日(日)
午後2時～午後3時(1時30分開場)

会場 水子貝塚公園内 展示館

定員 80人(先着順)

参加費 無料

申し込み 不要

縄文の森観察会(春)

新緑萌える水子貝塚公園内の草木や昆虫を
当館職員と一緒に観察します。

日時 5月24日(土)

午後1時～午後2時

場所 水子貝塚公園内説明広場集合

定員 15名(当日先着順)

夏休み縄文宿泊体験(全3日)

7月19日(土) 午前9時～

20日(日) 午前11時30分

縄文土器づくり、夜の竪穴住居体験、縄文料理体験、自然観察など

8月9日(土) 午前9時～12時

土器の野焼き

参加条件 小学4～6年生

定員 20人(先着順)

参加費 1500円(材料費など)

申し込み 6月1日(土)～7月7日(日)
電話または窓口で受付

土曜おもしろミュージアランド

会場 体験学習室または学習広場

時間 午前10時～、午後1時30分～
受付は各30分前より
各1時間～2時間程度

定員 各15人(当日先着順)

※黒曜石そっくりなお菓子づくりのみ
6/1より電話または窓口で受付

対象 小学生以上

(未就学児は保護者同伴で可)

※まが玉づくり中級編では経験者限定で子持ちまが玉づくりも行います!

日程	内容(参加費)
5月17日	まが玉づくり中級編(200円～250円)
6月7日	黒曜石そっくりなお菓子づくり(300円)
6月21日	ウッドクラフト(100円)
7月5日	縄文の革のきんちゃく(300円)



発行日 令和7(2025)年4月26日

編集・発行 富士見市立水子貝塚資料館

国指定史跡 水子貝塚公園内 〒354-0011 埼玉県富士見市大字水子 2003-1

水子貝塚資料館

検索

資料館 HP

二次元コード



☎ 049-251-9686

FAX 049-255-5596

